

平成30年5月14日

各 県 教 育 委 員 会 教 育 長 様
各 市 町 村 教 育 委 員 会 教 育 長 様
各 小 中 学 校 長 様
教 育 関 係 者 様

四国地区公立小・中学校事務職員研究会
会 長 赤 松 梨 江 子

第22回四国地区公立小中学校事務研究大会 (徳島大会)の開催について(依頼)

新緑の候、貴職におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろから本会の活動に
対しまして、ご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、標記の会を、開催要項のとおり開催することになりました。

つきましては、研究大会を実りあるものにしたいと存じますので、貴所属職員の参加につきまして格別のご
配慮をいただきますようお願い申し上げます。

また、公務ご多用とは存じますが、教育関係者の皆様に多数ご参加いただき、ご提言ご指導をいただけます
ようご案内申し上げます。

第22回四国地区公立小中学校事務研究大会(徳島大会) 開催要項

1 大会テーマ

新しい時代の教育に寄りそう学校事務
ー学び、伸び、活かす チームで描こう 夢のかたちー

2 目的

子どもの笑顔と豊かな学びを保障するため、社会に開かれた教育課程の実現が求められている。学校事務職員の資質・能力の向上を図り、新しい学校教育とともにある次世代型学校事務を創造する。

3 主催

四国地区公立小・中学校事務職員研究会

4 後援

文部科学省
徳島県教育委員会 高知県教育委員会 香川県教育委員会 愛媛県教育委員会
徳島市教育委員会 徳島県市町村教育委員会連合会 徳島県小学校長会
徳島県中学校長会 徳島県教育会 徳島県PTA連合会
全国公立小中学校事務職員研究会

5 主管

徳島県公立小中学校事務職員研究会

6 参加者

公立小・中・特別支援学校教職員 教育委員会事務局職員 教育関係者等

7 期日

平成30年8月22日(水)～平成30年8月23日(木)

8 日程

	10:00	10:30	11:15	12:15	13:15	13:30	16:30
8月22日 (1日目)		受付	開会式	文部科学省 行政説明	昼食 会場移動	分科会 受付	分科会

	9:00	9:20	9:50	10:05	11:45	12:00
8月23日 (2日目)		受付	分科会 報告	四事研 研究部 活動報告	記念講演	閉会式 引継式

9 研究主題等及び会場

区 分	研 究 主 題 等	会 場
全 体 会	開会式 文部科学省行政説明 分科会報告 四事研研究部活動報告 記念講演 閉会式・引継式	あわぎんホール ホール 徳島市藍場町2丁目14番地 ☎088-622-8121
第 1 分科会 高知県担当	学校事務で繋ぐ 新たな役割～実現に向けて～学校事務職員の船出	あわぎんホール ホール
第 2 分科会 香川県担当	働き方改革！新しい時代を生きる子どもたちのために －教頭会との連携による業務改善を考える－	あわぎんホール 大会議室
第 3 分科会 愛媛県担当	出会い、感動、夢への挑戦！ －チーム今治の実現に向けた業務改善の取組－	あわぎんホール 小ホール
第 4 分科会 徳島県担当	柔らかな心で未来にチャレンジ！ －学びのエンジンにつながる〇〇－	あわぎんホール 会議室2・3・4
第 5 分科会 徳島県担当	事務グループの機能強化により、業務改善を行い、 次世代型学校事務を創造する －統括事務室長の役割と「チーム学校」の推進－	あわぎんホール 会議室6

10 文部科学省行政説明

文部科学省担当官による行政説明

11 記念講演

講師 脚本家・小説家 旺季 志ずか 氏

演題 「生き方が仕事になる」

～肩書・役割の枠を超えていく～

12 資料代

3,500円

13 申込方法

大会ホームページの、申込みフォームから申し込みをしてください。

大会ホームページ <http://www.shikoku2018.tokujiken.jp>

申込受付期間 平成30年5月21日（月）～平成30年6月22日（金）

第22回四国地区公立小中学校事務研究大会（徳島大会）研究概要

第1分科会 高知県担当

学校事務で繋ぐ
新たな役割 ～ 実現に向けて ～ 学校事務職員の船出

1 研究テーマ設定の理由

学校事務職員の役割が変化し期待が高まっている今、新たな役割を創造していく必要があります。この分科会を昨年度の研究で見えてきた私たちの未来にむけての船出とするため、テーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

平成29年度から3年間の研究中期計画を立て、「チーム学校における学校事務職員の役割を明確にする」を目標に三つのキーワード「学校経営への参画」「学校事務職員の育成」「業務改善」に沿って研究を進めています。昨年度、「学校運営事務」や「外的マネジメント」について学びを深めることで具体的な取組が見えてきました。本年度は、新たな職務とその指標を提案していきます。

3 分科会運営の形態

提案発表、実践発表、シンポジウム

4 分科会討議の柱

- (1) 新たな役割を考える
- (2) 新たな役割を果たすために必要な「学校事務職員の育成」「業務改善」「共同実施体制」について

5 参加者へのお願い

皆様の考え方や具体的な実践など積極的な発言をお願いします。

第2分科会 香川県担当

働き方改革！新しい時代を生きる子どもたちのために
－ 教頭会との連携による業務改善を考える －

1 研究テーマ設定の理由

教育現場でも喫緊の課題である「働き方改革」。今、新しい時代を生きる子どもたちの育成のために、教職員自身が「ゆとり」を持つことが求められています。業務の効率化や専門スタッフの活用なども大きな課題となる中、教頭会と連携を図りながら業務改善を進めることが各学校における働き方改革の推進力になると考えました。

2 提案発表の骨子

教頭会と事務職員協会が共同で行った業務改善アンケートでは、多くの課題や改善意見が出されました。この結果を教頭会と連携して分析・考察し、業務の合理化やコミュニケーションといった観点から業務改善のための方策を整理しました。その中から取り組んだ実践例や今後の方向性について提案発表します。

3 分科会運営の形態

提案発表、ミニ講話、グループ討議

4 分科会討議の柱

- (1) 教頭会との連携による業務改善
- (2) 学校現場がどう変わっていくことが必要か

5 参加者へのお願い

グループ討議では、実践事例の紹介など積極的な発言をお願いします。

第3分科会
愛媛県担当

出会い、感動、夢への挑戦！
－ チーム今治の実現に向けた業務改善の取組 －

1 研究テーマ設定の理由

今、「チームとしての学校」の実現が求められている。そのような中、私たちはその実現に向け、これらに密接に関わる課題が学校の業務改善であると考え、チーム今治として業務改善に取り組んだ。

業務改善については日常的な学校の課題解決を確実に実行し、小さな成果を積み上げる達成感による『感動』を味わうことで、効力感を育む取組を目指した。また、現在課題となっている世代交代を『出会い』と捉え、若い活力とベテランの経験等を融合させ業務改善に取り組むことで、成長実感を重視した「人材育成」を目指した。そこで、私たち「チーム今治」は、『出会い』を大切に、『感動』を味わいながら、『夢（目標）への挑戦』をし続けていこうという思いで、このテーマを設定した。

2 提案発表の骨子

子どもたちが輝く、魅力ある学校をつくるため、「学校運営への参画」「教員の負担軽減」「業務の効率化」「組織連携と地域長制」を視点にした業務改善の実践と、それらの取組を通しての人材育成の在り方について提案します。

3 分科会運営の形態

提案発表及びパネルディスカッションを通して全員参加型の意見交流

4 分科会討議の柱

- (1) 学校が求める業務改善に事務職員はどう関わり、存在意義を高めるか
- (2) これからの人材育成の在り方はどうあるべきか

5 参加者へのお願い

各地で実践されている業務改善や人材育成の在り方について情報共有を図り、四国全体のステップアップにつながるような積極的な意見交流をお願いします。

第4分科会
徳島県担当

柔らかな心で未来にチャレンジ！
－ 学びのエンジンにつながる〇〇 －

1 研究テーマ設定の理由

社会の加速的な変化により、予測困難な未来を子どもは生きていかなければなりません。学校は、未来を創造し、課題解決する力「未来への意志」を持った子どもを育てる役割を担っています。私たち事務職員も、子どもの幸せを実現するために取り組んで行きたいと考えました。

2 提案発表の骨子

教員や子どもが求める事務職員とは、どのようなものか。他者の考えに耳を傾け、子どもの未来に繋がる「働き方」を「社会」を変えられることができる実践を提案します。

3 分科会運営の形態

プレゼンテーションを使用して提案発表と実践紹介、参加者による意見交換を行います。

4 分科会討議の柱

- (1) これからの学校事務職員の「新しい働き方」とは、どのようなものか
- (2) 学校事務職員からのアプローチによる「学校マネジメント」の実践について

5 参加者へのお願い

「県・事・研とくしま <http://www.kenjiken-tokushima.jp/>」掲載の「学校事務グランドデザイン2 1 Ver. 3」、「5カ年計画」をご覧のうえ、ご参加ください。

第5分科会

徳島県担当

事務グループの機能強化により、業務改善を行い、
次世代型学校事務を創造する

－ 統括事務室長の役割と「チーム学校」の推進 －

1 研究テーマ設定の理由

学校事務グランドデザイン2 1 Ver. 3で描いた統括事務室長。複数の事務グループのリーダーとして、事務処理体制の整備や先進的な取り組み等を実践することで、地域全体の教育力向上に貢献します。次世代型学校事務の在り方をこの職から探求します。

2 提案発表の骨子

地方教育行政の組織及び運営に関する法律で規定される「共同学校事務室」。それに共同実施以上の高い機能を保ち、教育行政事務としての広がりを持たせます。そのリーダーに統括事務室長を配置することにより、自律的な学校の確立と「チーム学校」を推進し、複雑化する教育課題対応を支援する職務を担います。

3 分科会運営の形態

6～8人を一つにしてグループ討議形式

4 分科会討議の柱

- (1) 次世代型学校事務について
- (2) 「チーム学校」を推進する学校事務

5 参加者へのお願い

参加者の都道府県の学校事務の組織化の現状を確認してください。

記念講演

「生き方が仕事になる」

～肩書・役割の枠を超えていく～

講師 脚本家・小説家 旺季 志ずか 氏

徳島県阿南市出身（2013年～徳島県あなんふるさと大使）

豊富な人生経験を生かし数々のヒットドラマの脚本を書く。主な作品に「カラマツの兄弟」「女帝」「屋根裏の恋人」「ストロベリーナイト」「特命係長 只野仁」。ベストセラーになった小説『臆病な僕でも勇者になれた七つの教え』、最近刊の『虹の翼のミライ』は泣いて笑つてためになると評判になりエンタメ自己啓発というジャンルを確立した。2017年秋、新・古事記ミュージカル『天の河伝説』で初めて舞台を作、演出。隠されてきた縄文の月の女神、瀬織津姫の復活をラブファンタジーに仕上げた同作は、発売5分で千席が売りきれほどの人気で再演希望の声が多い。最近ではテレビにコメンテーターとして出演、活躍の幅を広げている。



会場案内図

